



今治市朝倉地域の汚水処理施設統廃合計画

愛媛県今治市



市の沿革

平成17年1月に12市町村(今治市、朝倉村、玉川町、大西町、菊間町、波方町、吉海町、宮窪町、伯方町、上浦町、大三島町、関前村)が合併し、新今治市が誕生しました。

地 勢

今治市は、総面積419.13km²(平成26年10月1日国土地理院調)、愛媛県の北東部に位置し、瀬戸内海のほぼ中央部に突出した 高縄半島の東半分を占める陸地部と、世界有数の多島美を誇る大小およそ100の島々で形成される島嶼部から構成されています。

人口の推移(国勢調査)

平成17年度 173,983人

平成22年度 166,532人

平成27年度 158,114人(速報値)

主なまちの産業

(海運業及び造船業)

今治市は、瀬戸内の海上交通の要衝として古くから海運業が発達してきました。海運業の繁栄により、各種船舶を建造する造船業も盛んです。市内には14の造船所があり、また、西日本唯一の国際海事展「バリシップ」が隔年で開催されるなど、世界に向けて海事都市今治を発信しています。

(繊維産業)

今治市はタオルや縫製品などの繊維産業も盛んで、特にタオルの生産は、年間の生産量が約1万1千トン、全国の約6割のシェアを誇っています。平成18年度からは、四国タオル工業組合と今治市、愛媛県、今治商工会議所など、地域一体となって「今治タオル」ブランド化に取り組んでおり、高品質を誇る「今治タオル」は、国内のみならず海外からも高い評価を得ています。

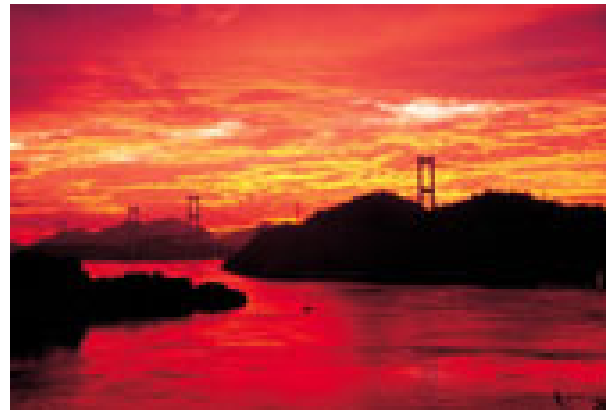


主な観光名所

- ・ 大山祇神社(日本総鎮守と呼ばれ、全国に一万社あまりの分社を持つ神社。拝殿・本殿が国の重要文化財に指定)
- ・ しまなみ海道(広島県尾道市から今治市までを結んだ西瀬戸自動車道。風光明媚な景色の中をウォーキングやサイクリングをして楽しむことが可能となっている。また、高速道路を規制してサイクリング大会が実施される。国内外から3,500人が参加。サイクリングの聖地と呼ばれている。)
- ・ 亀老山展望公園(来島海峡が一望できる景勝地)



大山祇神社



亀老山展望公園からの景色



サイクリング大会

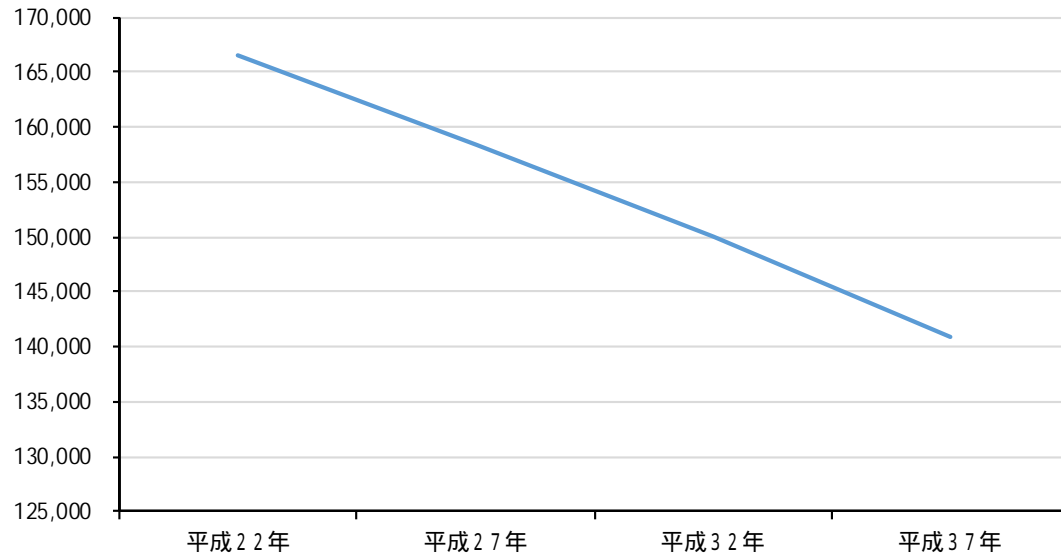
将来推計人口

(単位:人)

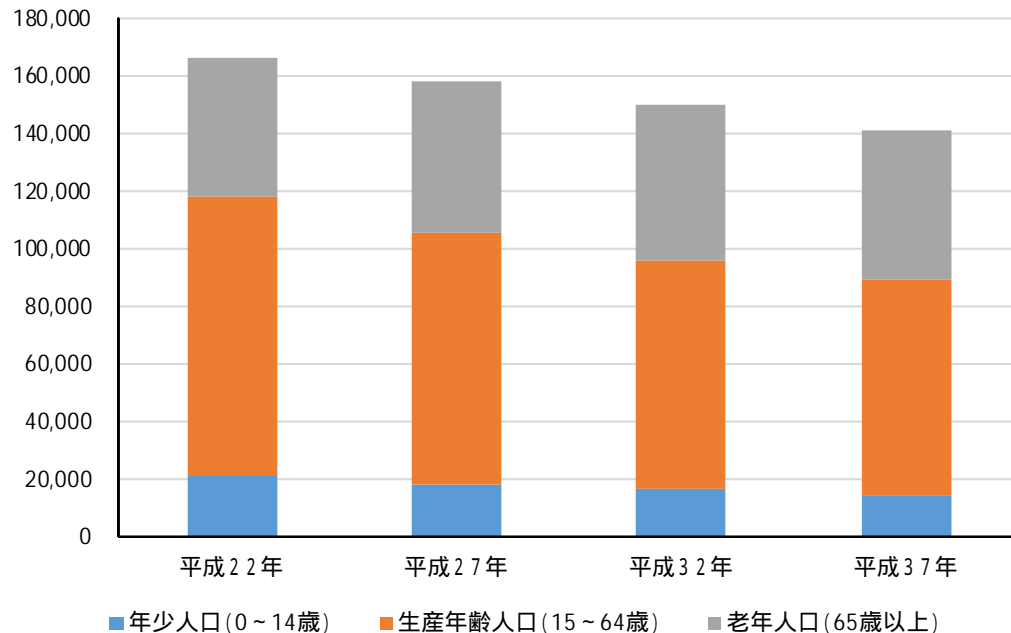
	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
総人口	166,532	158,300	150,000	141,000
年少人口(0~14歳)	20,842	18,500	16,400	14,300
生産年齢人口(15~64歳)	97,664	86,900	79,800	74,800
老年人口(65歳以上)	47,792	52,900	53,800	51,900

(100人未満四捨五入、平成22年は国勢調査の実績)

総人口

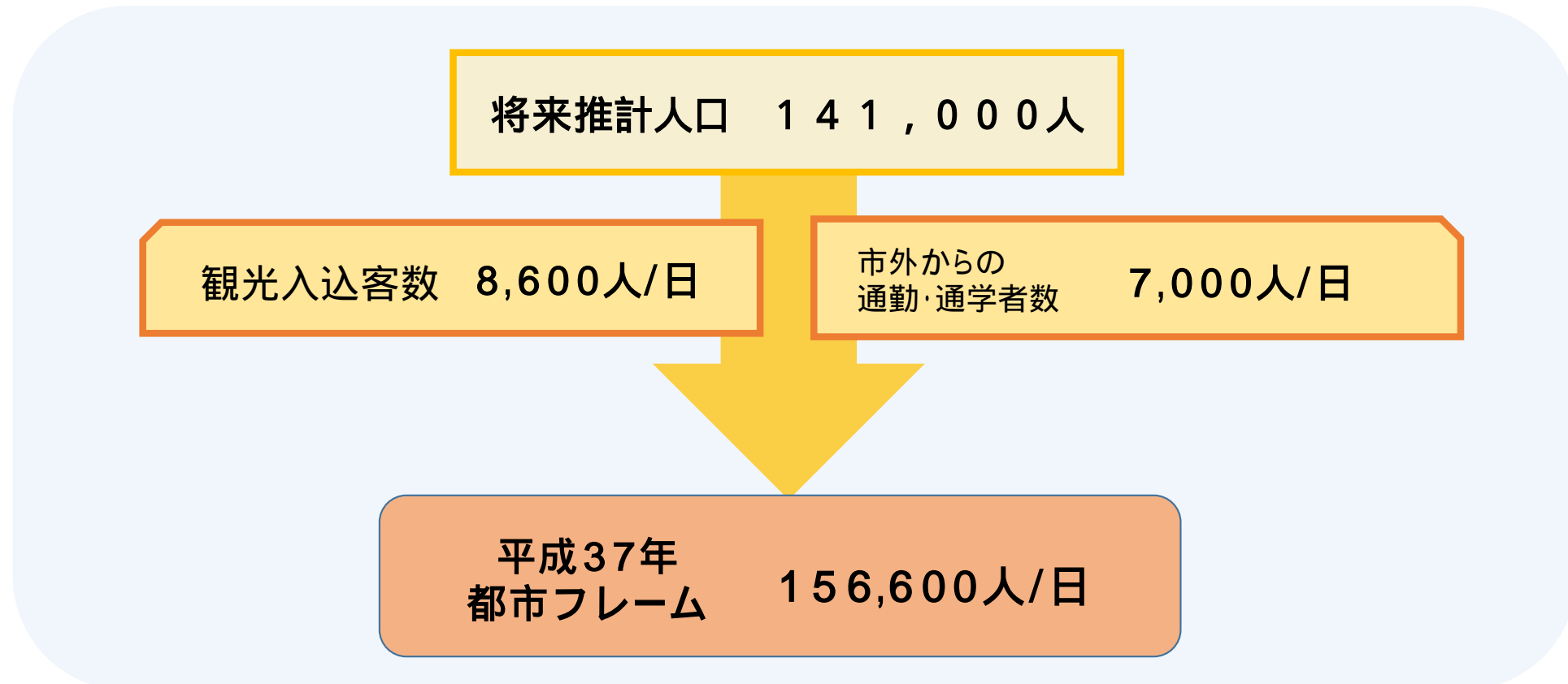


出典:第2次今治市総合計画



想定する都市フレーム

今治市では、将来推計人口と観光入込客数や市外からの通勤・通学者数を併せた156,600人を平成37年の都市フレームとしています。



都市フレームとは計画的なまちづくりを進めるために将来の都市の規模を想定した基本的な指標となるもの。

出典：第2次今治市総合計画

財政指標の推移

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
経常収支比率	89.7	85.5	90.8	91.0	86.3	90.8	89.2
財政力指数 (3か年平均)	0.59	0.58	0.59	0.58	0.58	0.58	0.57
実質公債費比率	15.7	14.7	14.6	14.2	13.9	13.0	12.8
将来負担比率	106.5	86.4	77.9	63.7	47.1	40.2	24.2

経常収支比率: 財政構造の弾力性を示す指数。経常一般財源総額(収入)に対する経常経費に充当された一般財源の比率。

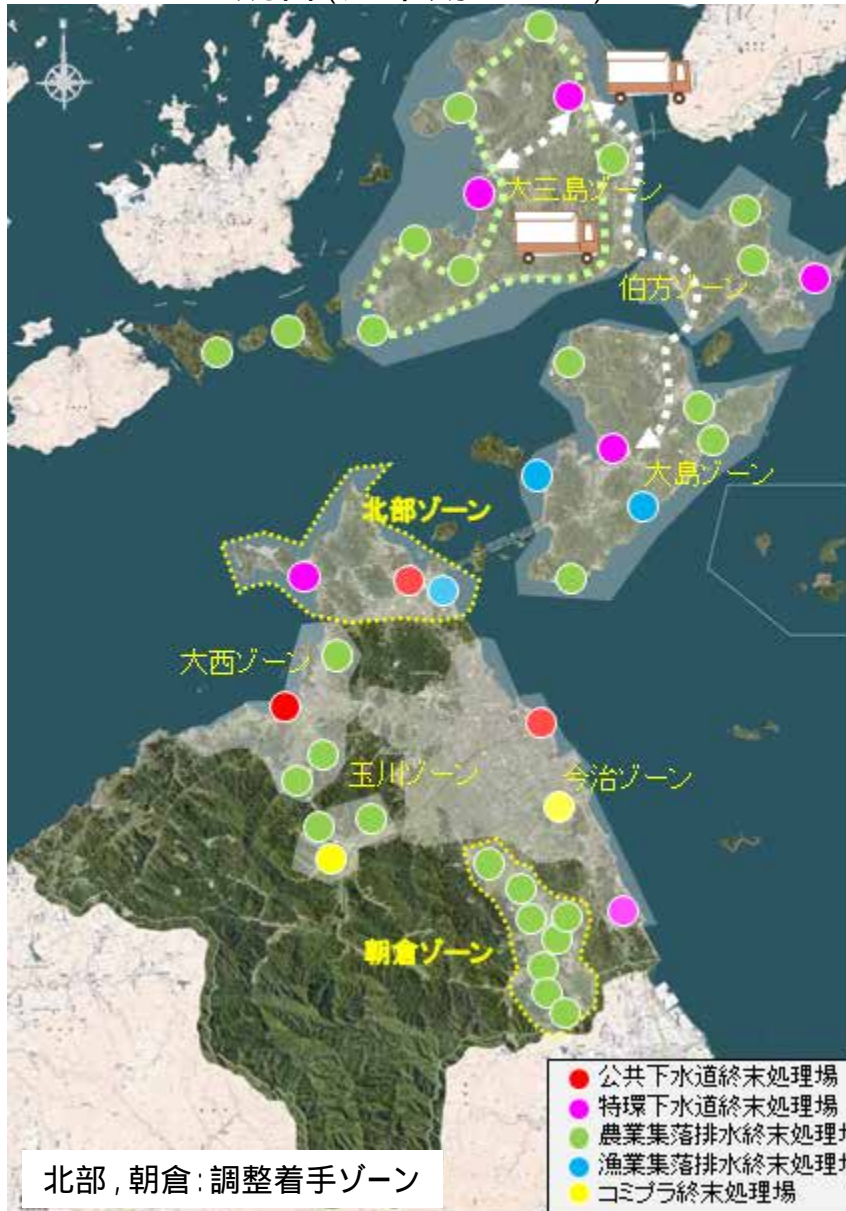
財政力指数: 地方公共団体の財政力を示す指数。数値が高いほど、自主財源の割合が高く財政状況に余裕があるとされる。

実質公債費比率: 市全体の会計に加え、一部事務組合や地方債の返済額も含めたものの割合。

将来負担比率: 市全体の会計に加え、一部事務組合や第三セクターも含めた将来負担。

今治市の取組・検討

統合(短中期レベル)



ゾーニング設定
 ○ 早期実現可能な8地区を設定

汚水量推計

水処理能力余剰把握
 ○ 水量
 ○ 時期

接続ルート(案)設定
 ○ 地形特性 (高低差・河川横断等)
 ○ 時期

整備費算出

経済比較
 判定基準(年単位で比較)
 『償還額 < 運転管理費』

統合or残置

汚泥処理

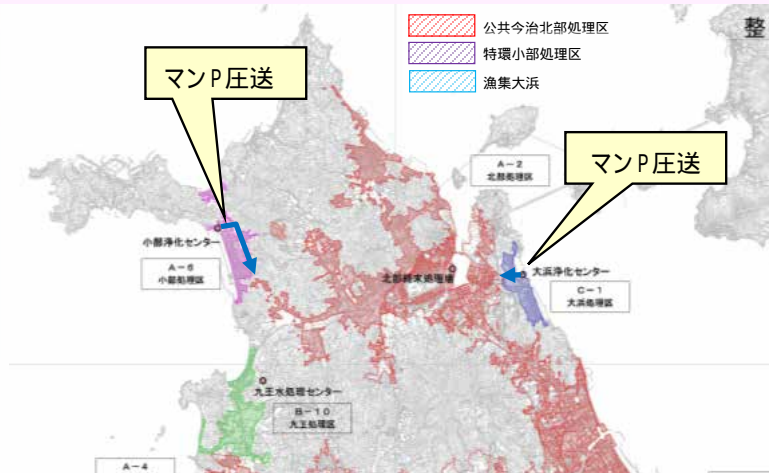
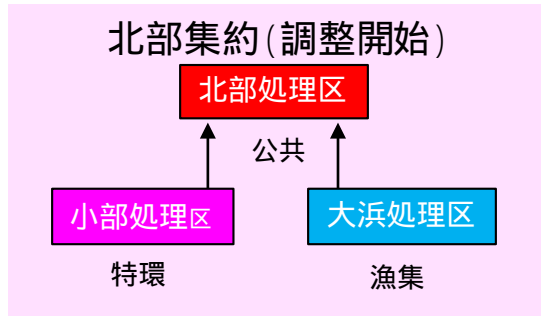
島しょ部では移動脱水車2台(公共・農集)の共同化により汚泥を減容化

- ・財産処分(国費返納)
- ・年間運転, 維持管理費
- ・老朽化対策費 (長寿命化)
- ・耐震改良費

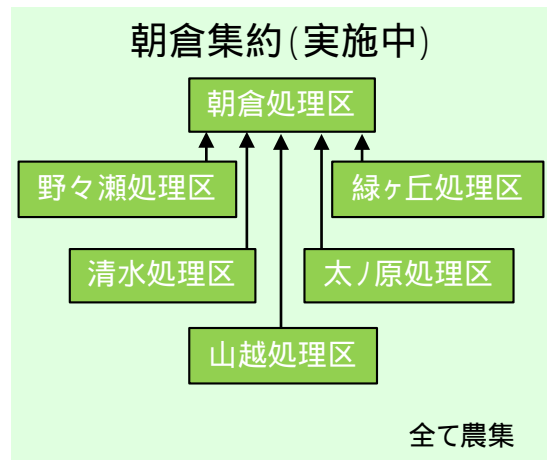
処理場の目標値

現在	: 41	削減率61%
○H30年代後半	: 25 (16)	
○H40年代後半	: 19 (9)	
○H50年代後半	: 16 (3)	

今治市の事例



今回説明箇所



分類	単位	現 状			ネットワーク形成後		
		今 治 北 部	大 浜 漁 集	小 部	今 治 北 部		
計画	処理人口	基本構想(H42)	人	9,670	550	1,160	11,380
	処理区域	全計	ha	454.5	28.2	41.0	523.7
		事業計画	ha	431.4	28.2	41.0	500.6
施設概要	処理場	全計	m ³ /日	6,250	650	1,140	6,250
		事業計画	m ³ /日	6,250	650	1,140	6,250
		現有容量	m ³ /日	8,500	650	1,140	8,500
	処理方式		標準活性汚泥法 ステップ流入式二段 硝化脱窒法	長時間曝気法	POD	標準活性汚泥法 ステップ流入式二段 硝化脱窒法	
	供用開始		H3.3.24	H2.6	H11.6		
実績	H27.5実績	区域内人口	人	11,935	864	1,520	14,319
		H26晴天日最大	m ³ /日	3,438	308	363	4,109
備考	根拠法令			下水道法	浄化槽法	下水道法	下水道法

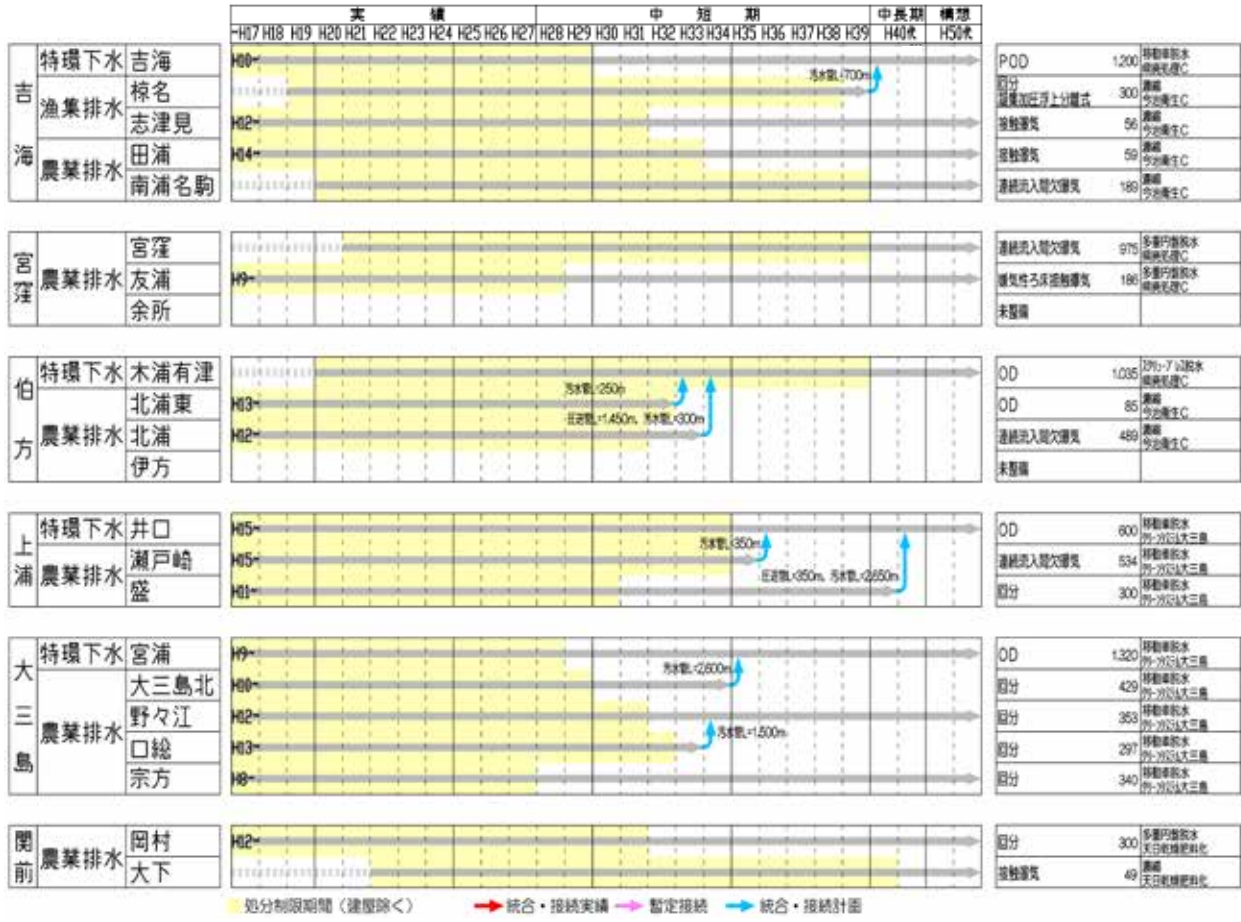
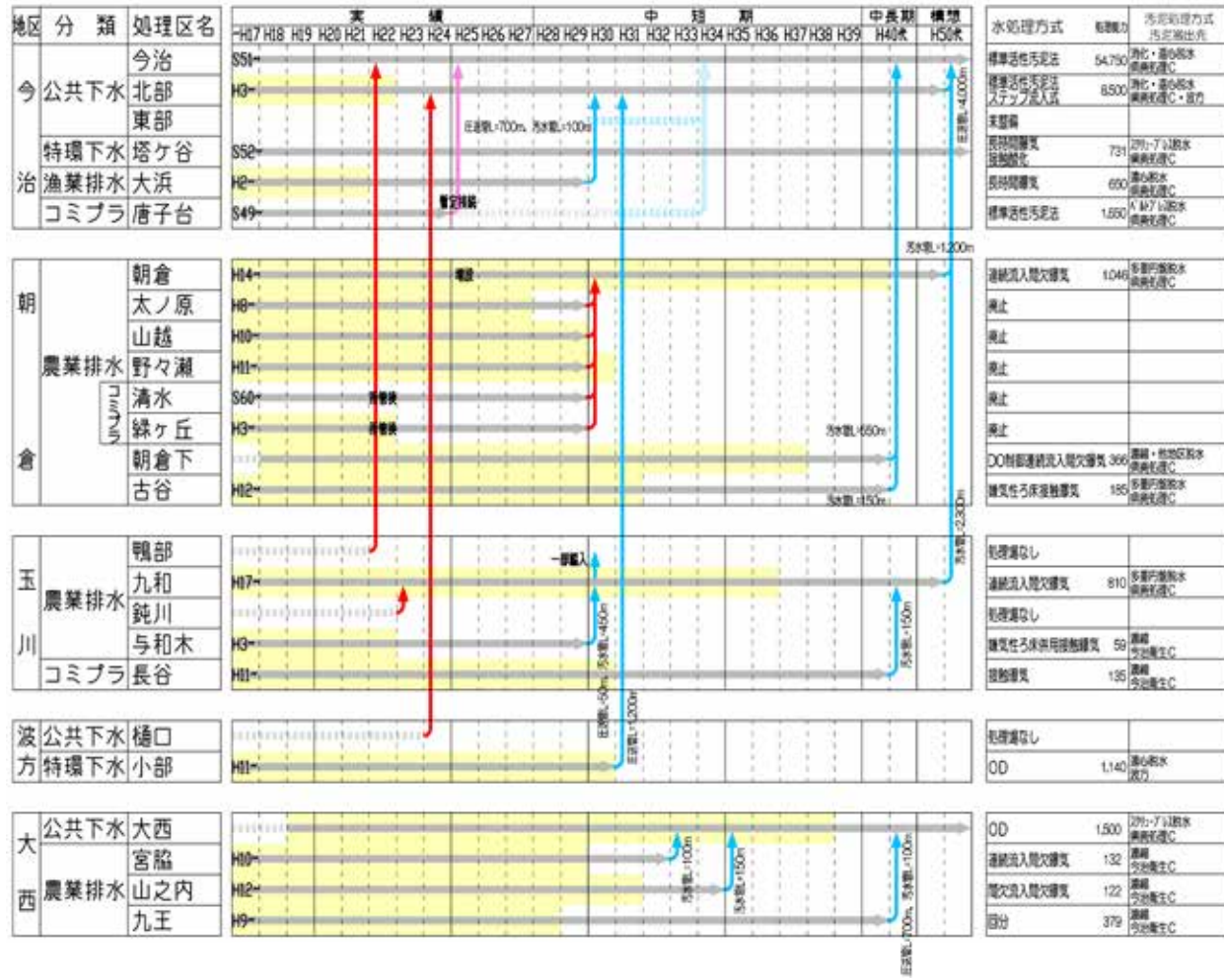
漁集大浜を廃止し北部処理区へ統合 (H26事前協議)

- n 平成27年3月11日 水産庁事前協議 (了)
- n 平成27年3月19日 愛媛県都市整備課協議
- n 平成27年3月20日 四地整事前確認 (了)

特環小部処理区を廃止し北部処理区へ統合 (H27事前協議)

- n 平成28年2月 1日 愛媛県都市整備課協議
- n 平成28年2月29日 四地整事前協議 (了)
- n 平成28年8月18日 四国地方整備局 (包括承認案です)

統廃合計画工程



● 処分制限期間(建屋除く)
 → 統合・接続実績
 → 暫定接続
 → 統合・接続計画

朝倉地域 位置図

県内位置図



地域の概要

朝倉地域は、愛媛県の北部高縄半島の東部、今治市の南東部に位置し、西条市と接している。地形は、三方を山に囲まれ、北側は開けた盆地で、中央を二級河川頓田川が南北に流れる。交通網は、南北に県道今治・丹原線、東西に県道東予・玉川及び県道桜井停車場線が走り、朝倉地域の動脈をなしている。

朝倉地域の汚水処理は、農業集落排水6地区(古谷・太ノ原・山越・野々瀬・朝倉・朝倉下)、市単独農集(旧コミプラ)2地区(清水・緑ヶ丘団地)で行われており、平成20年度の朝倉下地区の事業完了をもって、全域の整備が完了した。

汚水処理施設位置図

